

【令和6年度 自己評価】

1. 自己評価についての総評

- ・自分自身、一年間の日々の生活に余裕が持てず同僚や保護者への気遣いが今までよりも足りていなかったように感じている。振り返って気づくことも多く、日々のコミュニケーションの大切さと自分自身の振り返りの大切さを忘れないようにしたい。
- ・保護者対応に難しさを感じる場面があった。日々の連絡帳でのやり取りでは文章の表現の仕方で受け取り方や感じ方が人それぞれであり、こちらの伝えたいことがなかなか伝わらなかったり、悪く捉えたりと難しさを感じた。大きなトラブルになったわけではないが、伝える側として表現に気をつけなければいけないと反省する。大切なことは口頭で伝えることが良いと実感した。
- ・製作等では、なるべくいろいろな材料を用意し、絵本の読み聞かせでは、毎日一冊以上読み聞かせを実践することで、子どもたちそれぞれの興味や関心を引き出すきっかけになったのではないかと思う。
- ・公開保育を行った際に言葉がけが淡泊、少ないという指摘があり、他の先生方の言葉がけを意識して聞いてみると“本当にそうだな”と反省した。当たり前になっていることを見直し、よりよい保育・技術の向上に努めたい。
- ・4月当初、クラスをどうしていきたいか考えた時に、ある程度のことは出来るようになってほしいという思いがあり、いろいろなことに挑戦できる機会を増やした。一つ一つをなるべく早めに取り組んだことで子どもたちはどの活動においても意欲的に取り組んでくれた。子ども自身の「やってみたい」気持ちを尊重しながら援助することができた。上手くいかない時にはさりげなく支えたり、励ましたりすることで、自信へとつながる場面も多く見られた。生活の中での声かけや関わりの積み重ねが、子どもの成長に大きく影響することを改めて実感した。

2. 今年度、クラス運営や子どもの成長などについて、大切にしていることや心

構えを教えてください。また、一年間どのような保育を進めていきますか。

- ・大切な時期を担任という立場で関わり、心身が引き締まる思いだ。主体性を育む時代の中、一人ひとりとしっかり向き合い、良いところを伸ばす保育に努めたい。良いところを見つけ、認め、伸ばし、そして力が発揮したいと思う環境づくりにも励もうと思う。
- ・基本的な生活習慣の確立はもちろんのこと、友だちとの関わりの中で自分の思いを伝えたり、相手の気持ちに気づいたりする経験を積み重ね、自主性や社会性を育てていきたいと思う。また、遊びの中で「やってみよう」「挑戦したい」と思えるような環境を整え、一人ひとりが自信を持って自分が表現できるような保育を目指していきたい。
- ・日々の保育の中で「〇〇先生の遊びは楽しい！好き！」と思ってもらえるような活動を考えていきたい。
- ・“子どもたちが少しでも「楽しい」感じられる保育を！”を目標に、私自身も楽しみながら保育を行っていききたい。また、それぞれのペースに合わせた言葉がけや関わり方を考え、接していきたい。
- ・子どもたちに“今日も楽しかった！”と思えるような保育や関わりを大切にしたい。
- ・体調の管理や食事・睡眠など日々の生活を送るうえで十分に配慮し、事故のないよう緊張感を持ち、慣れに甘えることなく細やかな保育をしていきたい。自分の知識や技術も新しいものを情報収集し、実践していき子どもたちの成長を促していきたい。

保育者一人ひとりが保育や園全体の質の向上を図るため、令和6年度を振り返りました。

<評価方法>

◎：実施している ○：おおむね実施している △：実施しようと心がけている ×：実施していない

集計結果（回答人数 9人）

評 価	◎	○	△	×
①全体の子どもの発達・保育内容および計画	40	46	13	0
②年齢別子どもの発達と援助	23	28	11	1
③健康と安全	28	31	10	3
④職員の資質向上	28	56	30	3
合 計	119	161	64	7

自己評価 集計結果

